

6. 半導体関連企業誘致強化事業

拡

(予算額)14,500千円
(所管課)企業立地推進課

○半導体関連企業の立地促進のための誘致活動に要する経費

現状・課題

- TSMCが熊本への進出を発表して以降、多くの半導体関連企業が熊本に注目。
- 令和5年度においては、セミコン台湾での本市ブースの出展や、国外金融機関が開催する対日投資セミナーへの登壇等により、本市の立地環境等のプロモーションを実施。
- 半導体関連産業の受入用地の確保に向け、昨年9月に協定を締結した民間事業者と連携し、民間活力を活用した産業用地の整備と企業の誘致に取り組んでいる。
- 今後の企業誘致を見据え、必要となるターゲット企業の情報収集の強化が必要。

事業概要

○事業費:14,500千円

○事業内容

(1)半導体関連企業に対する誘致活動の展開【10,000千円】

セミコン台湾への本市ブース出展等、国内外の半導体関連の展示会へ参加し、本市の立地環境等のプロモーションを行うとともに、立地可能性がある企業への積極的なアプローチを行う。

《積算内訳》

- ・ セミコン台湾への出展料等:2,350千円
- ・ 国内外の半導体関連企業の誘致活動経費:7,370千円
- ・ 産業用地整備検討審査会の開催経費:280千円

(2) TSMCサプライヤー調査【4,500千円】[拡充]

TSMCと取引のある企業情報の収集や本市産業用地の整備を踏まえた立地ニーズ等の調査を行う。

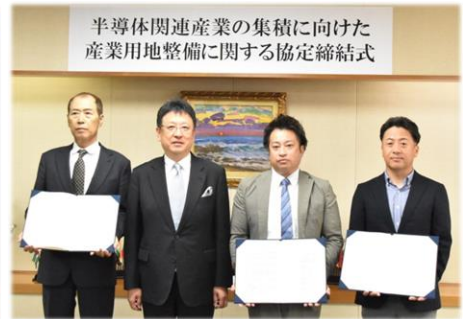
○令和5年度の主な取組



セミコン台湾での本市ブース出展
(R5年9月)



国外金融機関が開催する対日投資
セミナーでのプロモーション
(R5年9月)



半導体関連産業の集積に向けた
産業用地整備に関する協定締結式
(R5年9月～)

セミコン台湾について

- ・ 台湾の台北市で開催される、世界最大規模の半導体見本市。
- ・ 令和5年においては、約700社、計2,450のブースが出展する等、過去最大規模となった。